

湖上にいきづく、風の旅人

2024 茨城

3市合同
操業

9/22日

受付：土浦市、かすみがうら市、行方市
※3市いずれでも受付いたします。

操業場所：かすみがうら市歩崎沖
受付方法については、各市で異なりますので
事前にお問い合わせ下さい。

土浦市

操業期間 7/21(日)～10/14(月・祝)
毎週土・日曜日、祝日

受付場所 ラクスマリーナ

運航時刻 ホワイトアイリス号 13:30～

料金 大人1,570円/小人780円(未就学児無料)

問合せ 【帆引き船について】
(一社)土浦市観光協会 電話 029-824-2810
土浦市商工観光課 電話029-826-1111(内線2705)
【遊覧船について】
(株)ラクスマリーナ 電話 029-822-2437

かすみがうら市

操業期間 7/21(日)～11/17(日)までの
毎週日曜日
※特別操業11/24(日)

受付場所 畔の駅 コハン(かすみがうら市交流センター)
かすみがうら市坂4784番地先

運航時刻 <7～10月> 1【受付】12:15～12:45
便【出航】13:00
2【受付】13:30～14:00
便【出航】14:15

<11月> 【受付】15:00～15:30
【出航】16:00

【運休：8/4(日)・8/11(日)・11/3(日)】

料金 大人2,000円/小人1,000円(未就学児無料)

問合せ かすみがうら市観光協会 電話 029-897-1111

【操業当日】

畔の駅 コハン(かすみがうら市交流センター)
電話 029-896-1226

行方市

操業期間 9/28(土)～12/1(日)までの
毎週土曜日(団体予約)
日曜日(個人)

受付場所 【麻生地区】天王崎観光交流センターコテラス内
(乗船場所：古宿船溜)
【玉造地区】行方市観光物産館「こいこい」裏
仮設受付所
(乗船場所：霞ヶ浦ふれあいランド地先玉造桟橋)

運航時刻 15:30～ 【受付】13:00～

料金 大人2,000円/小人1,000円(未就学児無料)

問合せ (一社)行方市まちづくり推進機構(平日のみ)
電話 0299-57-3431

観光 帆 引き 船

見学の
乗船
案内
ご乗
案内

※国選無形民俗文化財(平成30年3月「霞ヶ浦の帆引き
網漁の技術」が国選無形民俗文化財に選定されました。)

平成百景

あなたが選ぶ、
新時代の日本の風景

読売新聞創刊135周年を記念して新時代の景観を選ぶ
「平成百景」に霞ヶ浦の帆引き船が選ばれました。

※天候や社会的な情勢により、予定された日・
時間に操業できない場合があります。
詳しくはお問合せ下さい。



か
す
み
が
う
ら
市

行
方
市
玉
造

行
方
市
麻
生



● = 乗船受付所



● = 乗船受付所

IBARAKI

帆引き船
事務所

霞ヶ浦大橋

帆引き船を使った帆引き網漁は、明治13年(1880)シラウオ漁を目的にかすみがうら市の折本良平氏によって考案され、ワカサギ漁の主役として昭和42年(1967)までの約100年間、霞ヶ浦漁業の花形として一世を風靡しました。また、折本良平氏が帆引き船を考案した当時は、サッパ船という舟が使用されておりましたが、サッパ船は安定していたものの、沖へ漕いでいくには波切りが悪いという欠点があり、海で使われていた波切りの良いチョキ(猪牙)船を元に、玉造の船大工 田上亀次郎氏が銚子に行き、チョキ船の製造を学びサッパ船の長所を取り入れ、霞ヶ浦で最初にミヨシ船を造りました。ミヨシ船の登場は漁獲量の増大をもたらし、以後霞ヶ浦漁船の主流となりました。

● = 乗船受付所

※乗船は伴走する見学船で帆引き船ではありません。